

令和元年度 高岡市下水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

令和元年度の下水道事業については、上下水道ビジョン計画を推進するなかで、下水道の使命である生活環境の改善、公共用水域の水質保全、浸水の防除に鋭意取り組むとともに、支払利息等の管理経費節減を図るなど、経営の健全化に努めました。

下水道施設整備事業では、公共下水道及び特定環境保全公共下水道整備を進め未普及地域の解消を図るなか、市中心部における老朽下水道管路の更新事業や浸水対策として雨水幹線整備を進めるとともに、基幹施設整備として、松太枝浜浄化センターの汚泥脱水施設設備改築工事や住吉ポンプ場自家発電機棟築造工事などを実施しました。

また、下水道施設の適正な機能維持と計画的な改築・修繕を行う上で必要となる下水道ストックマネジメント計画策定に向けて、下水道管路や処理場施設等の点検・調査を実施しました。

<普及状況>

本年度末における処理区域面積は 4,478.11haで前年度に比べ 70.38haの増加。また、処理区域内人口は 160,047人で前年度に比べ 1,014人減少し、普及率は 94.4%となりました。

<財政状況>

本年度の収益的収支については、事業収益 5,677,723,257円、事業費用 5,144,506,137円で収支差引 533,217,120円の当年度純利益を計上しました。

資本的収支については、資本的収入額 3,800,414,150円、資本的支出額 6,139,712,128円で不足する額 2,339,297,978円は、減債積立金 489,670,265円、過年度分損益勘定留保資金 551,645,555円、当年度分損益勘定留保資金 1,207,282,105円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 90,700,053円で補てんしました。